

NETIS登録番号	技術名称	Cラインブロック			
QS-130014-A	副題	歩車道境界縁石内部に排水機能を有し、路面の水溜りの解消を目的とした内部水路型縁石			
分類1 分類2	付属施設	路側工	キーワード:安全・安心、コスト縮減 生産性の向上 排水構造付き縁石		
開発目標	経済性の向上、安全性の向上、その他				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input type="checkbox"/> 有り ( ) <input checked="" type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	エムシー産業株式会社		TEL	0954-26-9535
	住所	〒843-0012 佐賀県武雄市橋町大字片白字馬場9922-1		E-MAIL	<a href="mailto:info@mc-sangyo.com">info@mc-sangyo.com</a>
	担当者	相浦敬次郎			
実績件数 H25.9.27現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等
	0件		0件		0件

技術概要:(300字以内)

①何について何をする技術なのか?  
・L型側溝のエプロン部が不要な歩車道境界縁石

②従来はどのような技術で対応していたのか?  
・L型側溝

③公共工事のどこに適用できるのか?  
・道路の歩車道境界縁石

新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)  
・歩車道境界縁石内にC形の排水機能を設けた。  
・土砂詰まりを防止するため、土砂流入防止対策を講じている。

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)  
・L型側溝のエプロン部が不要となるため、工期短縮につながる。また、エプロン勾配がなくなるため、安全性が向上する。  
・縁石内に路面水を落とし込むため、水溜まりや水はねの低減につながる。  
・土砂流入防止対策を講じているため、土砂詰まりが低減し排水機能が維持できる。  
・内部が目視でき、維持管理が簡単に行える。

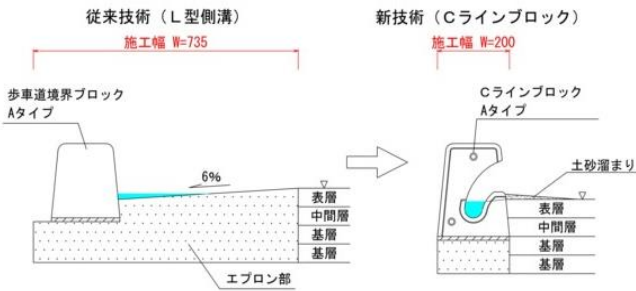
適用条件

①自然条件:  
・特になし

②現場条件  
・バックホウ(クレーン機能付き)の作業半径5.0m程度の作業ヤードが必要。

③技術提供可能地域:  
・全国

④関係法令等  
・特になし



Cラインブロック

施工単価

Cラインブロック100m当たり据付 ・労務および各種製品はH25.4月佐賀県採用。

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
Cラインブロック据付け	歩車道A	100	m	1,523	152,300	
材料費	歩車道A L=2000 164kg	50	個	8,500	425,000	
型枠工	均し基礎コンクリート	18	m2	2,922	52,596	
無筋・鉄筋構造 物人力打設	18-8-20 B種	1.9	m3	14,562	27,668	
			計		657,564	



流水・土砂流入防止状況

施工方法

※上層路盤完了後の施工方法とする。

①基礎コンクリート型枠:所定の法線、高さ等になる様に型枠を設置する。

②基礎コンクリート:所定の幅、高さ、厚さになる様にコンクリートを打設する。

③Cラインブロック据付け:所定の配合のモルタルを敷きならし、バックホウ(クレーン機能付き2.9t吊)にて所定の高さ、法線に設置する。  
又、MC縁石柵ST型を10mに1箇所設置する。

④目地:Cラインブロック据付け後、製品と製品の付き合い合わせ部にモルタルを充填する。  
又、緩やかな曲線部については、目地で調整可能である。

⑤完了。



Cラインブロック据付け状況